



Thinking of Love,Peace, Freedom and Diversity
in Nara and everywhere in the world . . .
We appreciate your support and encouragement.



一般社団法人blue earth green trees
2020年度活動報告書
2020年4月1日～2021年3月31日



目次	
代表挨拶	P.1
各プロジェクト活動報告	
1.多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業	
『愛と平和と自由と多様性の種を蒔く / Seedfolks of Love, Peace, Freedom and Diversity』 P.2	
ハートフル リーディング/heartful reading P.2	
1枚の写真から P.3	
Love, Peace, Freedom and Diversity Project	
～憲法絵本と語りの会・わたぼうしコンサート・blue earth green trees～P.3	
第1回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.4	
第2回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.4	
第3回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.5	
第4回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.5	
第5回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.6	
ROUDOKU』プロジェクト P.6	
Sharing our experiences～Philippines & Japan /	
それぞれの声を聴き合おう～フィリピンと日本 P.7	
手話パフォーマンスワークショップ P.7	
5月9日(土)開催中止：Love, Peace, Freedom and Diversity Concert P.8	
9月5日(土)開催中止：Love, Peace, Freedom and Diversity Concert P.8	
2.心の健康を応援し、個人の成長及び健康的な人間関係を促す事業	
健康的な日々のために/子育てカフェ P.9	
「わたし」と「わたし」の出会い P.10	
3.SDGsについての理解を深め、SDGs貢献団体を応援する事業	
第1回 SDGs勉強会/第2回 SDGs勉強会 P.11	
第3回 SDGs勉強会/フェアトレードプロジェクトP.12	
4.同一の目的を持つ団体と協力・協働する事業	
手作りマスクを届けようプロジェクト/手作り布ナプキンを届けようプロジェクトP.13	
Planting trees in California after the Wildfires/カリフォルニア森林火災被災地植林プロジェクト	
Supporting California Schools & Community after the Wildfires /	
カリフォルニア森林火災被災学校区応援プロジェクトP.14	
秋の出会いプロジェクト /みんなで取り組む『難民と進む20億キロメートル』プロジェクトP.15	
ご協力団体様・協働団体様からのメッセージ	
特定非営利活動法人国連UNHCR協会 芳島昭一様より P.16	
特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構 山上正道様より P.16	
株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ 入江英明様より P.17	
一般財団法人たんぼぼの家 わたぼうしコンサート事務局 酒井靖様よりP.17	
特定非営利活動法人 関西NGO協議会様より P.18	
ご協力者の皆様	P.19
ご協力団体の皆様	P.20
寄付報告	P.21
当団体への寄付報告	P.22
決算報告	P.23
理事・事務局メッセージ	P.24

代表挨拶

古都奈良では1300年前から種を蒔き木を植え自然の中で心豊かに暮らし、国内外の人々と交流・協力する文化が育まれてきました。blue earth green treesもそのような文化の中で、国内外の多様な一人おひとりとの出会いと有機的な繋がりから、2018年度に任意団体として活動を始めました。2019年度には多様性ワークショップの開催、オーストラリア森林火災被災者・被災動物応援ドネーションイベント、オーストラリアNGO訪問などを行いました。2020年2月中旬にオーストラリアから帰国後、世界の様々な国で新型コロナウイルスの感染拡大が報道され、4月には日本でも第1回目の緊急事態宣言が7都府県に発出されました。2020年4月1日、blue earth green treesは新型コロナウイルスが感染拡大する中で、一般社団法人として新たなスタートをきりました。コロナ禍での個人・団体・社会を見つめ、活動の意味を考える日々が続きます。

blue earth green treesの名前は、多様な一人ひとりがそれぞれの心の中に、そして世界に 'Love, Peace, Freedom & Diversity' の種を蒔き、その一粒一粒が芽となり、一本一本の緑の木が青い地球に健やかに育つことをイメージしたところから生まれました。国や人種や言葉や文化や宗教などで分断されることなく、私たち一人ひとりが青い地球に生まれ、育つ一本一本の多様な木であり、互いに支え合い、補い合う存在であると感じます。

一人ひとりの心身の健康を大切に、個人の内側にある力を信じ、成長を促進し合える豊かで開かれた関係を築き、国内外の多様な個人・団体の皆さまと共に、より良い社会をつくっていきけるように歩んでまいります。

「多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業」、「心の健康を応援し、個人の成長及び健康的な人間関係を促す事業」、「SDGsについての理解を深め、SDGs貢献団体を応援する事業」、「同一の目的を持つ団体と協力・協働する事業」を柱に、2020年度の多様なプロジェクトを進めることができました。

コロナ感染拡大防止を意識しながらの日々、さまざまな制約を受けながらも、安全に安心できる環境で各プロジェクトを進めることができたのは、信頼で繋がる多様な個人・団体の皆さんのおかげです。心より感謝申し上げます。

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)で掲げられている'Leave No One Behind' 「誰ひとり取り残さない」という理念を心に、法律・教育・心理・医療・福祉・環境・まちづくり・農業など、多様な分野の専門家の皆さんと協力し合い、セクターの壁を越え、パートナーシップを活性化し、確かな歩みを重ねていきたいと思っています。

私たち一人ひとりの選択と行動が、次世代やその先の子どもたちの幸せや地球の未来に直結していることを実感させられる「今、ここ」で、お互いのあり方を見つめ合い学び合いながら、一瞬一瞬ベストな方向を判断し、進んでまいりましょう。そして、地球も人も自然体で生き生きとそのままの輝きを発することができるように、自由に創造的で豊かで柔軟なプロジェクトを一緒につくり続けましょう。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2021年4月
一般社団法人blue earth green trees 代表理事
東口千津子



1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

愛と平和と自由と多様性の種を蒔く / Seedfolks of Love, Peace, Freedom and Diversity

活動概要	2020年3月、新型コロナウイルスの影響を世界中が受ける中で、毎日を健康に希望をもって生きていける知恵など、国内外から多様なメッセージを届けていただくプロジェクトをスタートしました。仕事やライフワークについての志や実践、地域課題への取り組み、家族や友人との繋がり、心を豊かにする芸術など、2021年3月末で#159となりました。
メッセージ掲載数	159
リーダー〈東口千津子〉の声	国内外の多様な個人・団体の皆さんから届けられるメッセージに光を見つけ、希望を感じ、コロナ禍の日々を心豊かに歩むことができました。一人ひとりのあり方から多様な視点を学び合い、個人・組織・社会について考え、それぞれの行動に繋げることができました。



ハートフルリーディング/heartful reading

活動概要	人の心に寄り添い、思いやりの種を育てていけるように、ハートフルリーディング・プロジェクトメンバーが、朗読を配信させていただいています。2020年5月から2021年3月の期間に#1～#23の朗読作品をお届け致しました。
聴き手の声	・ハートフルリーディングの方々の朗読をいつも楽しみにしています。忙しい日常ですが、あたたかい朗読の時間に気持ちが穏やかになっていきます。 ・コロナ禍の日々、不安や孤独を感じることもありましたが、朗読で元気をいただいたり、季節を感じたりできました。
リーダー〈チコ〉の声	朗読好きのメンバーが、月一回を目安に季節に合わせた作品をお届けしたいと思っています。朗読を通じて、皆さんに空想の旅を楽しんで頂けたら幸いです。



1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

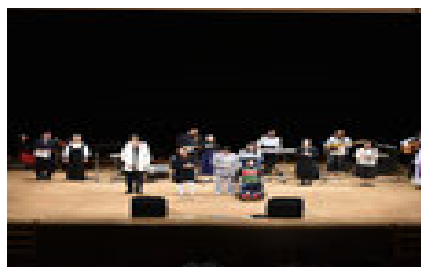
1枚の写真から

活動概要	コロナ感染の影響を受けずに集えるようになれば、お互いの経験を「つぶやき合う」交流をしたいと思います。2020年6月から『1枚の写真』に一人ひとりが感じたことと共に発信していただきました。2021年3月までに26枚の写真とメッセージが届きました。
掲載数	26枚
リーダー〈杉岡博幸〉の声	デジタルカメラやスマートホンのカメラがどんどん進化し、美しく手軽に写真を残せる時代になりました。しかし、自分の目で見て感じ、心の中に大切に残していきたいものです。その大切な一枚に言葉を添え、発信していただけたら嬉しいです。新しい自分の発見や喜びに気づき、笑顔がさらに増えることを願います。



Love, Peace, Freedom and Diversity Project ～憲法絵本と語りの会・わたぼうしコンサート・blue earth green trees～

開催日時/会場/ 参加人数	2020年11月19日（日）13時30分～16時@ならまちセンター市民ホール 参加者 82人
活動概要	どのような境遇にある方もどのような障がいのある方も個人として最大限尊重されるというメッセージを、憲法を伝達する奈良弁護士会所属弁護士と、障がいのある方の歌を伝達する社会福祉法人わたぼうしの会と、当法人で共感・共鳴させるコンサートをつくりました。
協力・協働団体	憲法絵本と語りの会、たんぼぼの家わたぼうしの会、ゴスペル☆IKOMA、一般社団法人手話エンターテイメント発信団oioi
参加者の声	・わたぼうしの語り部の人たちが素晴らしかった。 ・憲法のエッセンスをわかりやすい言葉で語っていただけてとても良かったです。 ・コロナ禍の毎日や仕事に立ち向かう気力のようなものをいただいた気がします。
リーダー〈田中啓義〉の声	障がいのある方の『憲法絵本』の語りは、心に染み入るわかりやすい語りでした。弁護士のお話は憲法を再発見する内容のお話でした。『わたぼうしコンサート』の歌唱と演奏は、障がいのある方の個人的経験や社会への思いを伝え、心を強く打つものでした。『愛と平和と自由と多様性』が通底し、共鳴する素敵な会となりました。



1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

第1回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks ～岩崎裕保さん、Darryl Takizo Yagiさん(お手紙を通じて)

開催日時/会場/ 参加人数	10月17日(土) 13時～15時@奈良県文化会館2階集会室AB 参加者31人
活動概要	NZ研究、開発教育、平和研究、国際協力等に尽力されている岩崎さんから、NZで個人→隣人→町と非核の意識が生まれた事、日本の非核宣言自治体・原発の事をはじめ、多様な課題についてお話を聴かせていただきました。Darryl Yagiさんからはカリフォルニア森林火災被災状況を伝えていただき応援プロジェクトを開始しました。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな場所で活動されているお話に刺激を受けると共に人の温かさを感じました。 ・知識の幅を広げることができました。皆さんがそれぞれに役だてればと、いろいろ活動されているのもわかりました。
リーダー(東口千津子)の声	NZの個人と国のあり方、日本の個人と国のあり方について深く考える機会を岩崎さんからいただきました。世界と日本と自分自身を見つめ直し、今できることを再確認しました。Darryl YagiさんからはカリフォルニアのNPOと繋いでいただき、具体的な応援の形を確認することができました。気候変動についても考える機会となりました。



第2回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks～奥田鹿恵子さん

開催日時/会場/ 参加人数	11月6日(金) 18時～20時@奈良県文化会館第3会議室 参加者11人
活動概要	特定非営利活動法人AMDA社会開発機構ネパール事業統括代行として母子の健康格差是正事業などに取り組んでおられる奥田さんから、ネパールの皆さんとのコミュニケーションを大切に過ごしてこられているお話を聴かせていただきました。青年海外協力隊でのご経験等、国際協力の道を目指すきっかけもお話下さいました。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・社会事業を営む事業者として、フロントラインで社会貢献活動を実践されている方からのお話は非常に臨場感があり、有意義でした。 ・手作りマスクをお届けさせていただいたご縁で、奥田さんとお会いすることができ、ネパールのことや国際協力のことなど、海を越えたことにふれる機会ができ、とても嬉しいです。ネパールのことを知り、また日本のことを考えることもできました。
リーダー(東口千津子)の声	ネパールの自然・文化・生活に馴染まれ、現地の皆さんと丁寧にコミュニケーションをとられている事が伝わってきました。母子の健康格差是正という課題に着実に取り組んでおられる姿勢、国際協力の道に進まれた覚悟等、奥田さんのあり方から学ばせていただきました。コロナ禍の一時帰国中の貴重な機会に心より感謝致します。



1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

第3回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks～芳島昭一さん

開催日時/会場/ 参加人数	12月26日（土）13時～16時@奈良県文化会館2階集会室AB 参加者18人
活動概要	国連UNHCR協会職員の芳島昭一さんから、戦争や迫害によって故郷を追われた難民の人々の現状、コロナ禍でさらに苦しい状態に追い込まれていること、UNHCR協会の役割、難民の人々への応援の方法などについてお話を聴かせていただきました。また、芳島さんが国際協力の道に進まれたきっかけなどもお話をいただきました。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・難民の方々の現状についてこれまで深く考えた事がなかったのですが、「もし自分がその立場だったら」という視点でお話いただき、考え方が変わりました。 ・大好きなクイーンのフレディ・マーキュリーも難民だということも改めて提示されて、そういう難民を多様性の一つとして受け入れていくことこそ、これからの人類には必要だと感じました。
リーダー（東口千津子） の声	2019年10月に亡くなられた緒方貞子さんが発信されていた『内向きではなく、世界に開かれた心で自ら行動する』というメッセージに勇気をいただいてきました。難民の人々が生まれる背景・コロナ禍での状況・応援方法などについて、より理解を深めることができました。国際協力の道に進まれた芳島さんの想いも伝わってきました。



第4回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks～田中啓義さん

開催日時/会場/ 参加人数	2月13日（土）13時～16時@奈良県文化会館2階集会室AB 参加者32人
活動概要	blue earth green trees理事・登大路総合法律事務所所長弁護士の田中啓義さんから、『愛・平和・自由・多様性』と『SDGs』と『憲法』の共通項、法と司法の現場、環境問題への法的支援、教育現場との協働、心の専門家との協働、福祉と芸術と法のコラボ、『いのちの宝石』、ボランティア精神等についてお話を聴かせていただきました。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・法がどう人のために役立っているのかを具体的にお話いただけて勉強になりました。他の分野と協働しつつ目的を実現されているのがすごいと思いました。 ・SDGsと日本国憲法の密接な関係を今日聴いて、改めて日本国憲法の基本原則の大切さを感じました。環境問題への法的支援、教育現場での協働、福祉と芸術と法のコラボは素敵な活動だと思います。
リーダー（東口千津子） の声	命・家族・繋がる人たち、仕事・社会貢献・国際協力など、法の観点から広く深く見つめ直すことができた時間でした。多様な専門家とのチームで連携し、困り事を抱えておられる個人を支援していくことの大切さを実感しました。『できる限り、公私において、お互いのいのちの宝石を輝かせたい』という言葉に心を刻みました。



1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

第5回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks～中溪宏一さん

開催日時/会場/ 参加人数	3月20日(土) 13時～16時@奈良県文化会館多目的室 参加者17人
活動概要	商社勤務→世界放浪→地球を歩く、木を植える→南米パタゴニア(チリ)に移住→森かえる(森林活用事業)→宇宙エコロジー計画(完全自立型ライフスタイル技術の確立)など、中溪さんの半生についてお話を聴かせていただきました。また今後の国内外でのお仕事についてもお話下さいました。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・中溪さんの実体験にぐいぐいひかれました。あのこと、このことが、私の小さな世界の中にもつながるものがあるって、生きていくこと、地球に暮らすことは素敵だなと。身体の底が元気になった気がします。これからまた、調べたいこと、学びたいことが増えました。 ・人間が増えすぎた現実から人口削減を目指していると言われてはいますが、地球にとって人間こそ不可欠なのではとお話を聞いて思いました。人間がエネルギーを循環させることで、地球はより良くなるのだと知りました。とても光のあるお話で感動しました。
リーダー(東口千津子)の声	地球にとって何が大切なのかを考えながら進む方向を決め、行動される中溪さんのあり方が伝わってきました。これまでのご経験がすべて繋がり、世界をフィールドにより良い環境をつくっていかれるタイミングでお話を聴かせていただき、私たち一人ひとりができることを考える機会となりました。



『ROUDOKU』プロジェクト

開催日時/会場/ 参加人数	10月31日(土) 13時～15時@奈良文化会館会議室 参加者9人
活動概要	一人ひとりの好きな作品(5分以内、言語も自由)を持ち寄り、声に出して読み、聴き合うプロジェクトです。作品を選んだ理由や感じたことを分かち合う時間も大切にします。今回のリラックス&集中力を高めるウォーミングアップは、シヨンレノンの「ちょうどいい本」を使いました。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんがそれぞれに選ばれた作品に、それぞれのカラーがあり、たくさんの思いを共有することができて、とても心が豊かになりました。楽しかったです。 ・和やかな心地よい時間でした。声を出すこと、気持ちを届けることの力強さと温かさを今さらながらに・・・
リーダー(チコ)の声	年齢も国籍も異なる参加者で、朗読する言語は日本語・古典・英語とさまざまでした。一人ひとりの朗読や作品を選んだ思いなどを共有していくうちに、自然にあたたかい輪が広がり、その人らしさが感じられました。これからも、たくさんの人と朗読を通じて繋がりが合うことができればと思います。



1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

Sharing our experiences~Philippines & Japan / それぞれの声を聴き合おう~フィリピンと日本

開催日時/会場/ 参加人数	8月1日（土）13時～15時@奈良県文化会館会議室 参加者 6人
活動概要	フィリピンと日本の家庭や地域で大切にしていること、人間関係、学校や職場のあり方などを英語&日本語で聴き合うプロジェクトです。それぞれの文化や言語やアイデンティティを尊重しながら、一人ひとりの声に耳を傾けて、お互いを知り合います。
参加者の声	オリビアさんのお話を聴きながら、フィリピンの豊かな分かち合いの文化を感じました。たくさんエネルギーをいただきました。
リーダー〈山本オリビア〉 の声	I'm privileged to be a project leader and shared my experiences with my kids about Philippine, American and Japanese Education as well as our different cultures. It's good to meet beautiful people as we journey in this life. Because of our sharing with these members, it's my desire to help more the needy especially in the Philippines.



手話パフォーマンスワークショップ

開催日時/会場/ 参加人数	2月13日（木）13時30分～16時30分@奈良県文化会館多目的室 参加者10人
活動概要	2020年5月のSpring Concertに向けて、2～4月にかけて、「手話パフォーマンスワークショップ（全6回）」を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、第1回ワークショップ（2/13(木)）のみ実施いたしました。
協働団体	一般社団法人手話エンターテイメント発信団oioi
リーダー〈岡崎 伸彦〉 の声	2020年度は新型コロナウイルスの影響を鑑み、ほとんどワークショップを中止といたしました。2021年度は、オンラインでの開催も視野に入れながら、より安心で、よりみなさまに手話を楽しんでいただける場を作っていきたいと思っております。そして、2020年1月のLPFD Concertのようにみなさんと温かい場にしていきたいです。



1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み中止

Love, Peace, Freedom and Diversity ～Spring Concert～

開催日時/会場	5月9日(土) 13:00～15:30@なら100年会館 中ホール
プログラム	<p>【プログラム内容&出演者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウクレレ・ギター演奏&歌 (Stuart Nago さん) ・手話パフォーマンス (手話エンターテイメント発信団 oioi) ・スペイン舞踊&ギター(加藤おりはさん&丸山太郎さん) ・朗読 ・合唱 (Lito Cruz さん) ・AMDA-MINDS の活動映像とメッセージ
協働団体	一般社団法人手話エンターテイメント発信団 oioi



Love, Peace, Freedom and Diversity ～Autumn Concert～

開催日時/会場	9月5日(土)13:00～15:30@なら100年会館 中ホール
プログラム	<p>※奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭参加承認イベント</p> <p>【プログラム内容&出演者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話パフォーマンス (手話エンターテイメント発信団 oioi) ・スペイン舞踊&ギター(加藤おりはさん&丸山太郎さん) ・ゴスペル歌唱 (ゴスペル☆IKOMA さん) ・朗読 ・トーンチャイム演奏 (加音 西京極作業所通所者さん *動画参加) ・ぱちぱちの歌 (たんぽぽ生活支援センター児童デイサービスの子どもたち *動画参加) ・AMDA-MINDS 活動映像とメッセージ ・国連 UNHCR 協会活動映像とメッセージ
協働団体	一般社団法人手話エンターテイメント発信団 oioi



2. 心の健康を応援し、個人の成長及び健康的な人間関係を促す事業

健康的な日々のために

活動概要	新型コロナウイルス感染拡大防止のために、「ステイホーム/おうちで過ごそう」期間が続く中、健康的な日々を過ごすために、28の視点をシンプルな表現で繋がる皆さんにお届けしました。お一人おひとりに役立つ視点を意識していただき、日々の暮らしに生かしていただけるよう、メッセージをお届けしました。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ #1~28 ほんとうに！！プリントアウトして自室に貼っています。 ・ 毎日、小さなことでもできることがあると気づきました。気持ちが楽になりました。
リーダー〈東口千津子・矢倉真由子・小原祥子・松本由季子〉の声	コロナ禍の日々、不安や孤独や怒りや混乱を感じておられる方々の声をお聴きし、心身の健康を応援する機会が増えてきました。お一人おひとりができるシンプルなことを見つけていただきたいと思います、28の視点をお届けしたところ、それぞれの暮らしに生かしていただいている感想が届きました。



子育てカフェ

開催日時/会場/ 参加人数	7月17日（金）10月23日（金）12月11日（金）10時30分～12時30分@奈良市内 参加者4人
活動概要	2020年度は7/17(金)、10/23(金)、12/11(金)午前10時半～午後12時半、参加人数は3～4名で実施しました。毎回特にテーマは決めず自由に発言していただく形で始まります。自然な流れの中、その回その回で大事なテーマが見えてくる印象です。2021年度4月より、毎月第4金曜に実施予定です。
リーダー〈矢倉真由子〉 の声	日々の子育てで体験する感情、体験してきた感情、また子育てへの不安や期待などを共有する機会を持ち、互いに元気をもらいながら、次の一歩につなげていくことができればと思います。自由であたたかな空間で、開かれた自身の心と向き合うことができる時間は、自身の生き方への模索にも繋がるように感じています。



2. 心の健康を応援し、個人の成長及び健康的な人間関係を促す事業

「わたし」と「わたし」の出会い

活動概要	新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせ、今年度は開催に至っていません。思いがけない変化や不安に直面する日々が続く中、この場所での出会いの意味を改めて深く考えた結果、参加して下さるお一人お一人の日常の力に少しでもなれることを願い、次年度に向けたリニューアル構想を練ることとなりました。
リーダー〈小原祥子〉の声	2021年度は「ひとときカフェ」プロジェクトとしてリニューアルの予定です。副題は「～それぞれの旅、想いの交差点～」です。厳しい状況の中でも、自分のいる場所で休みなく続く、それぞれの「人生の旅」「こころの旅」。忙しく過ぎていく時間の中でしばし足を休め、お互いの「今」を聴き合うひとときを共有しませんか？

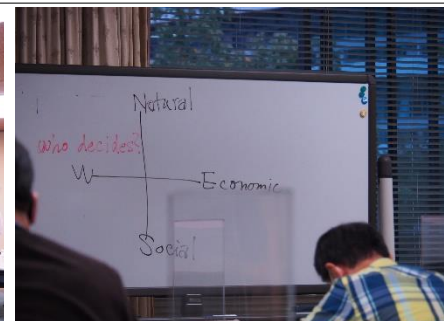


blue earth
green trees

3. SDGsについての理解を深め、SDGs貢献団体を応援する事業

第1回 SDGs勉強会

開催日時/会場/ 参加人数	10月17日（土）14時30分～16時@奈良県文化会館 参加者 31人
活動概要	SDGsはMDGs（ミレニアム開発目標：途上国の貧困や格差の削減がテーマ）の後継であるというバックグラウンドと、「誰一人取り残さない」というSDGsのモットーと、「経済・社会・環境の三側面を調和させる」ためにSDGsはあるということをお伝えしました。これらの根っこにあるのは、「だれに決定権があるのか」ということです。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・NSEW(Natural, Social, Economic, Who decides?)のチャートが大変参考になりました。 ・少し難しかったですが、歴史や世界的なことなど経緯がわかりました。いろいろな考えを持つ人がいるのもわかり、おもしろかったです。
リーダー〈岩崎裕保〉 の声	環境 = Natural、経済 = Economic、社会 = Socialをコンパスの東西南北（NEWS）としたとき、Wは“Who Decides?”だという英国のNGOの指摘を紹介しました。N-E-Sはこれまで調和していたことはなく、資源や人権を奪いながら経済が成長してきたので、そのいびつなコンパスを正していけるのはWが機能してこそなのです。Wは当事者や市民のことです。



第2回 SDGs勉強会

開催日時/会場/ 参加人数	12月26日（土）14時30分～16時@奈良県文化会館 参加者 18人
活動概要	P.メンツェル『地球家族』を使って「写真を読む（photo-language）」をした後で『SDGsアクティビティ集』（開発教育協会+Save the Children）にある「カードを使って世界を旅しよう」を行いました。次に同書の「15年前の世界と未来（2030年）の世界を考えよう」で「5歳未満児の死亡率」「女性の国会議員議席の割合」「1人あたりの二酸化炭素排出量」などの変化をみました。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・As growing up learning from school back in my elementary days where poor become poorer and rich people becoming more richer. It's not surprising any more. At least we have the awareness. It's a long long way to go. But doing little by little to uplift especially the poor counties, it will make a big difference. If we care more enough it will be a better place to live.(Our Mother Earth)
リーダー〈岩崎裕保〉 の声	<p>日ごろ接触の機会が少ない地域の「あいさつ」や「数字」を見つけるのは難しかったようでした。先進国では、識字率の課題はないかのように調査が行われていないところもあります。</p> <p>「将来、マグロが食べられなくなるって、ホント？」といった日常の暮らしの中にある事柄がどのSDGsの目標と関連するか考えてみると、SDGsを身近に感じられるかもしれません。</p>



3. SDGsについての理解を深め、SDGs貢献団体を応援する事業

第3回 SDGs勉強会

開催日時/会場/ 参加人数	2月13日(土) 14時30分~16時@奈良県文化会館 参加者 32人
活動概要	SDGsを日々の暮らしの中で、特に「人権と多様性」にフォーカスしたアクティビティを行いました。一種のロールプレイで、読み上げられる文章にYESと言える場合には一歩前進します。さまざまな人物設定がありますので、20個の文章が終わると、横一列だった最初とは違って凸凹になりました。
参加者の声	・ワークショップでいろんな立場の人々のことをより身近に受けとめることができました。SDGsに繋げて物事を考えてみようと思います。 ・初めてSDGsのことを教えていただきました。普通に、近くにいる人の状況ひとつひとつからSDGsへの取り組みのきっかけとなるものですね。
リーダー〈岩崎裕保〉 の声	ロールプレイは、その役割に完全になりきることはできません。その人の体験や知見などが影響します。若い学生にコレを行ったときには、あまり凸凹はできませんでした。それぞれの人になり切れなくて、自分の現状や考え方が大きく反映されたのだらうと思いました。想像力もまなびの中で育てていきます。



フェアトレードプロジェクト

活動概要	3月までの準備期間で、国際フェアトレード認証ラベル付きエコバック2種類のサンプルを制作し、予約受付を実施しました。4月からの販売開始を前に、フェアトレードの事をより多くの方々に知って頂くために、製作依頼先であるSCOOさん提供のフェアトレード/SDGs オンラインセミナーの内容をまとめ、「種を蒔くコーナー」で紹介しました。SCOOさんのHPでも、当団体の取り組みを紹介して頂く予定です。第2弾、秋のランチトートを販売に向け、サンプル制作済みです。
制作依頼先	株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ SCOO (スクー) 合同会社 (~途上国の子どもをすくう)
リーダー〈尾松貴美〉 の声	ひとりでも多くの方に、フェアトレードの事を知って頂き、フェアトレードに参加して頂くきっかけになればと願っています。フェアトレードは、チャリティではなく、途上国の労働者の「働く」を応援するということ。自分自身も、まだまだ知らないフェアトレードの事を、この活動を通して勉強中です。



Meet earth green trees 口入り eco bag
国際フェアトレード認証ラベルも100% ビュア・オーガニックコットン

3L5Lランチトート (337円/2枚入り)
M/Lトート (363円/2枚入り)
※送料 1,000円 (送料別)

国際フェアトレード認証ラベルも100% ビュア・オーガニックコットン
公平・公正な取引と生産者・労働者への適切な対価を支払うこと、環境にやさしい生産方法の採用、労働者の権利の尊重、児童労働の排除、動物の権利の尊重、社会正義の促進、消費者への適切な情報提供を目的として、国際フェアトレード認証ラベルを取得している商品です。

SCOO 株式会社
〒600-0001 東京都中央区新富1-1-1
TEL: 03-6262-1111 FAX: 03-6262-1112
Eメール: info@scoo.jp



4. 同一の目的を持つ団体と協力・協働する事業

手作りマスクを届けようプロジェクト

活動概要	2020年4月27日(月)から受付開始しました。全国各地から2000枚を超える手作りマスクをお預かりし、ミャンマーに520枚・ネパールに520枚・ホンジュラスに400枚・アメリカ(カリフォルニア ソノマ)に150枚の計1590枚をお届けしました。
参加人数	個人58人、6団体(お名前掲載を希望されない方は数に含まず)
協働団体	特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構 (AMDA-MINDS) Guerneville School District
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の日々、自分自身の楽しみのためにマスクを作り始めましたが、国内外で必要な方に使ってもらえると嬉しいです。 ・国際貢献できる機会を与えてもらって嬉しかったです。(85歳)
リーダー〈今中和子〉の声	たくさんの方々から多くの手作りマスクをお預かりし、4か国にお届けできたことに感謝ばかりです。『作る・届ける・使う』の三者あつての活動です。たくさんの方々がつながり、そのみなさんがこのコロナ禍での少しの心の支えにいただけたなら嬉しいです。



手作り布ナプキンを届けようプロジェクト

活動概要	AMDA-MINDSさんの事業実施国のネパールで、生理期間に適切な手当てをするための衛生用品が利用できない状況があり、手作り布ナプキンのニーズに応じて、布ナプキンのサンプルを作成しました。4人の方にご協力いただき、サンプル16枚をすでにネパールに発送し、現地からのフィードバックを待っている状況です。
協働団体	特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構 (AMDA-MINDS)
参加者の声	It's so important to support individual health in any country. I hope this project could make girls and women happier.
リーダー〈松本由季子〉の声	生理用品を買うお金がない、または利用できない環境にある生理の貧困は、発展途上国に限らず、格差が広がっている先進国でも問題になっています。このプロジェクトでの活動が、国や性別に関係なく、みんなが生理について理解したり、安心して生活できる世の中について考える機会につながればうれしいです。



4. 同一の目的を持つ団体と協力・協働する事業

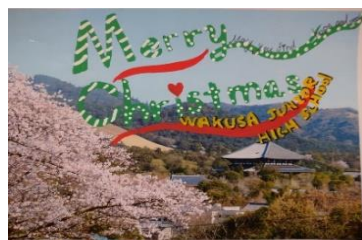
Planting trees in California after the Wildfires /

カリフォルニア森林火災被災地植林プロジェクト

Supporting California Schools & Community after the Wildfires /

カリフォルニア森林火災被災学校区応援プロジェクト

活動期間	2020年9月27日～11月30日
参加人数	個人：40人 / 団体：6団体 / ドネーションイベント参加者
活動概要	2020年8月からカリフォルニア州で大規模な森林火災が起こり、深刻な被害がみられました。コロナ禍の影響と森林火災の被害で大変な被害を受けておられる被災地・被災者を応援するために、複数のドネーションイベントで現地の状況を伝えました。現地の Stewards of the Coast and RedwoodsとGuerneville School District(Boys & Girls of Sonoma-Marin経由)にそれぞれドネーションをお届けしました。奈良市立若草中学校美術部の生徒たちがGuerneville School Districtの子どもたちにパソコンで絵を描いたカードと手書きのカードを送りました。奈良県の小学校の子どもたちと兵庫県小学校の子どもたちがGuerneville School Districtの子どもたちに折り紙などで飾りをつけたカードと手書きのカードを送りました。
ドネーション先	<ul style="list-style-type: none"> Guerneville School District *Boys & Girls Clubs of Sonoma-Marinを通じて Stewards of the Coast and Redwoods
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> コロナや気候変動など、それぞれの場所でできることを続け、協力しあいたいと思います。 森林火災で被害を受けたカリフォルニアの美しい自然が戻りますように、人々が日常を取り戻せますように、自分にできることを見つけたいです。
リーダー〈Darryl Takizo Yagi〉の声	<p>〈Supporting Stewards of the Coast and Redwoods〉 Through the generous donation of USD \$1,000 from blue earth green trees community, the Stewards of the Coast and Redwoods will use the donation to beautify the nature and natural environment that was destroyed the wildfires in California. The generosity of the community and members will help restore the natural surroundings and allow the blue earth to rejuvenate and the green trees to beautify itself.</p> <p>〈Supporting Guerneville School District〉 The generous donation of USD \$1,000 you made is through the sponsoring non-profit: Boys and Girls Clubs of Sonoma-Marin where all proceeds go directly to the Guerneville School District Emergency Relief for the purpose of supporting families. Many families have experienced damage to their homes and/or suffered from long periods of emergency evacuations due to the wildfire in Sonoma County. The wildfire caused significant hardships and potential trauma for some of the students and their families. I thank you for your generosity and support for the students and their families.</p>



4. 同一の目的を持つ団体と協力・協働する事業

秋の出会いプロジェクト

開催日時/会場/ 参加人数	11月21日(土) 10時～12時@KNC関西人間関係研究センター 参加者 8人
活動概要	KNC関西人間性関係研究センターとblue earth green treesの主催で、カリフォルニア・ソノマにお住まいのカウンセラー・教育者のDarryl Takizo YagiさんとZOOMで繋がり、カリフォルニア森林火災の被災者・被災地の状況についてお話を聴きました。また一人ひとりからDarrylさんに質問をし、応援のメッセージを送りました。ドネーションを現地NGO2団体に送りました。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ Darrylさんの顔を見られて、声を聴いて、なつかしく感じました。世界のどこであれ、友人・知人と繋がることは大切で喜びです。森林火災は自然の叫びのひとつだと感じています。人類の環境破壊によりあちこちで自然がうめいていると感じています。 ・ ふだん思っていることがさまざまに繋がり(環境や文化、政治など)、実感に近く災害を考えることができました。
リーダー〈東口千津子〉 の声	2008年に関西人間関係研究センターで故畠瀬稔さんからご紹介いただいたDarrylさんの友人として今回のプロジェクトと一緒に取り組みました。畠瀬直子さんと参加者の皆さんと、ソノマの子どもたちとコミュニティの応援、被災した森林の回復を応援しました。



みんなで取り組む『難民と進む20億キロメートル』プロジェクト

活動概要	国連UNHCR協会の取り組みに賛同し「歩き」「走り」「自転車に乗り」難民の皆さんと進むプロジェクトを2021年1月18日にスタートしました。個人・団体で「歩いた」「走った」「自転車に乗った」距離を国連UNHCR協会に報告し、ウェブサイト合計距離を表示していただいています。3月現在、12836.433km、進みました。
参加人数	個人41人、団体16組72人 合計113人(3月18日現在)
協働団体	特定非営利活動法人国連UNHCR協会
参加者の声	走りながらHPで拝見したことを思ったときに、ふと初めて全盲の方の伴奏をした日の場面を思い出しました。ブラインドランナーは自分の安全がわからないままガイドに身を預けて進みます。難民の方々が長い距離を移動しているときの気持ちはいかほどか・重なるところがあるのではと思いました。
リーダー〈ルミカ〉 の声	コロナ禍の日々、自分自身の心身の健康を意識し、「歩き」「走り」「自転車に乗り」、難民の皆さんに思いを寄せながら進んでいきましょう。ひとりの距離は短くてもみんなの距離を合わせるとすごい距離になります。自然を感じながら、それぞれのペースで継続していきましょう。



特定非営利活動法人国連UNHCR協会 芳島昭一様より



【写真】命を守る：コンゴ民主共和国から隣国ウガンダに避難した母子。新型コロナウイルスで国境が封鎖される中、ウガンダは寛容な姿勢を貫いている ©UNHCR Rocco Nuri

現在、世界では約8000万人の難民・国内避難民の方々が紛争や迫害などによって愛する故郷を追われ、厳しい避難生活を送っています。

誰にもあるはずの家や家族、仕事や学校、そして故郷が、難民になった途端に全て失われてしまう…自分の身に置き換えて考えると、とても恐ろしく悲しいことです。そうして国を追われた方々の避難生活は平均約20年も続くという事実には愕然とします。持続可能な開発目標（SDGs）では「誰一人取り残さない」世界の実現を掲げていますが、難民の方々の置かれた状況も改善しなければその実現はあり得ません。すべての難民が暖かいベッドで安心して眠ることが出来るよう、お力添え賜れましたら大変ありがたく存じます。

〈 寄付先からのメッセージ 〉



難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会

国連の難民援助活動に協力したい。そのための公式支援窓口です。国連UNHCR協会

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。スイス・ジュネーブに本部を置き、約135か国で援助活動を行っています。この国連の難民支援活動を支えるため、広報・募金活動を行う公式支援窓口が、国連UNHCR協会です。皆様の温かいご支援に心より感謝を申し上げます。

特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構 山上正道様より

blue earth green trees「手作りマスクを届けようプロジェクト」にご協力いただいた皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大予防対策の一環として手作り布マスクを寄贈していただいたことに、改めて感謝を申し上げます。ミャンマーとネパールへ520枚ずつ、そしてホンジュラスへ400枚、合計1,440枚のマスクを現地に届けることができ、それぞれの場所で大切に使われています。使い捨てマスクを簡単に買うことができない地域も多く、「何度も洗って使える手作りマスクはありがたいです」と、喜びの声が寄せられています。一つひとつ丁寧に心を込めて手作りして下さった皆さん、本当にありがとうございました。

アムダマインズ（特定非営利活動法人AMDA社会開発機構 本部：岡山市）は、人づくり村づくりを通じ、世界の貧困地域において暮らしの改善に取り組んでいる団体です。

現在、アジア・アフリカ・中南米の8か国で約100名のスタッフが、保健、水と衛生、生計向上、農業、青少年育成などの社会開発の活動を展開しています。

これからも引き続き、よろしくお願いいたします。

世界の元気を育てたい。



株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ 入江英明様より

日本初の「フェアトレードコットン」をローンチして今年でちょうど10年になります。当時はスターバックスの「コーヒー」がフェアトレードであることは何となく知られていましたが、製造工程が多いアパレル製品では、ハードルが高く、国際フェアトレード認証製品の製造はとても困難と考えられていました。ただ、当時の欧米では既にかかなりのフェアトレードコットン製品が流通していましたので、何とか日本でも展開できないかと調査を進めました。そこで中南米などいくつかの候補地をまわり、最終的にインドで綿花から製品化までのサプライチェーンを構築することができました。現在では日本を代表する多くのグローバル企業に参加いただいています。

つむぐ、つなぐ、つづく。



インドの綿花農家の方々

一般財団法人たんぽぽの家 わたぼうしコンサート事務局 酒井靖様より

blue earth green trees 様へ

～Love, Peace, Freedom & Diversity Project～

憲法絵本と語りの会&わたぼうしコンサートを終えて

この度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響があったにもかかわらず、「～Love, Peace, Freedom & Diversity Project～ 憲法絵本と語りの会&わたぼうしコンサート」を開催いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

昨年2月だったでしょうか… 新型コロナウイルスがなんだかんだと言われだした頃も、その怖さもその凄さもまったく気にすることなく正直高を括っていました。

私たちが人生を懸けてきた45年間の活動は、障害のある人たちの心を歌うこと、そして、歌うことを通して人々に伝えることです。集まることを禁じられ、歌うことも禁じられ、どのようにして伝えたらいいか悩んでいました。「わたぼうし音楽祭」はインターネットで開催しましたし、リモートでコンサートに出演もしました。しかし、何かが足りないのを感じていました。

「わたぼうし」は、そこに人がいて成り立ちます、そこにあなたがいるから頑張れるのです。私たちにとって一年ぶりのコンサート、一年ぶりの語りの会、おかげさまで枯れかけていた心が潤いました。

歌えることの幸せ、聞いてもらえることの喜び、忘れかけていた「わたぼうし」の一番大切なことを思い出させてくれました。

ありがとう、心を込めてありがとうございました。



ご協力団体様・協働団体様からのメッセージ

特定非営利活動法人 関西NGO協議会様より

主に関西に活動拠点をおくNGOが全国・世界のNGO/CSOと連携を強め、NGO/CSO同士のネットワークを形成し連帯を促進することで、それぞれの活動をより充実・発展させることを目的としたネットワーク型の国際協力NGOです。現在、50の加盟団体のほか、大学や企業、個人の会員によって活動を支援いただいています。2020年に加盟いただきましたblue-earth-green-treesの皆さまとは、地域からSDGsを推進・達成する大切なパートナーとして、様々な活動をご一緒できることを楽しみにしています。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

<https://kansaingo.net/index.html>



メッセージを下さったご協力団体様・協働団体様に加え、多くの個人の皆さま・団体の皆様のご協力くださいました。すべてのご協力者のお名前の掲載は叶いませんが、国内外の繋がるお一人おひとりに心より感謝申し上げます。

【ご協力者】（敬称略）

Iris SAITO, Arisa, Athena MARINI, Chada, Colin SAITO, Dana PEDERSEN, Darryl YAGI, Felicity MAY, Jennifer WEISS, John MITCHELL, Kayo SAITO, Kazumasa, Lito CRUZ, Masataka, Masami ISHIKAWA, Ryoto, Stuart NAGO, Suzu,
相場久美子、明石利津子、明石壮一、明石優花、明石結衣、明石利奈、明石和奏、天沼耕平、有吉相陽、有吉真知子、有吉光彦、石黒修、石田美加、今中和子、今中順子、入江英明、入部英則、入部克子、岩崎裕保、植田正子、浦池江美子、永立昌利、大音英子、大河戸章代、大西芳子、大西寛記、岡田学、奥田鹿恵子、奥間照美、乙倉恵子、小幡浩次、景山寛、勝浦隆晴、加藤おりは、加藤久子、金田伊佐子、川井コウ、川口結花、川嶋富美子、川野裕満子、川畑久代、北野佐知子、木村直子、桐山有希子、久保田至、久保田葵、小池泰久、小浦理恵、小寺敦子、小西友貴、小林光子、榊原厚子、榊原一憲、佐藤可奈子、佐藤玉恵、佐野加代子、新川修一、関原深、高橋智子、高橋美和子、高宮朋子、田口淳子、田中茜、田中恵子、田中葉月、田中人美、田中万紀、田中眞弓、谷口美恵子、玉井史朗、陳イーウエン、築地広恵、寺川梨枝子、轟木久美子、友田智子、内藤青兒、内藤庸子、中溪宏一、中野加奈、長橋弦生、長橋努、中村正美、中山久雄、西別府直美、西井優嘉、西方千晶、西方穂積、西崎隆、西村馨、西山誠二、野田佳代、野近和夫、長谷川聖仁、畠瀬直子、畑中敦子、馬場浩行、原田美智、東口健、東口洋史、東出延子、平野邦子、福井和代、福田英子、藤井文子、古野茂実、又吉斎、松井治、松井友美恵、松木俊明、松浦孝至、松下照子、松下壽子、松村克子、丸山太郎、丸山由美子、三木武志、水科純子、水野行範、南伊吹、南和宏、南孝良、南裕子、宮尾耕二、宮川貞子、宮崎礼子、宮本純子、宮脇聡子、向谷仁美、元持弘子、森田真理子、安田真由美、安田美津子、山上正道、山淵啓子、山村一彦、山本オリビア、山本カレン、山本静香、山本ベネディクト、山本昌彦、山本花恋、芳島昭一、吉田早智子、吉田智里、吉田正夫、りゅうじ、りょーじ、ルミカ、六田裕子、若林暁子、若林訓雄、若林さくら、若林優太、若林陽子、脇坂博史、“わたぼうし”の皆様、匿名希望の皆様



メッセージを下さったご協力団体様・協働団体様に加え、多くの個人の皆さま・団体の皆様にご協力くださいました。すべてのご協力者のお名前の掲載は叶いませんが、国内外の繋がるお一人おひとりに心より感謝申し上げます。

【ご協力団体】（敬称略）

Boys and Girls Clubs of Sonoma - Marin,
Gippsland Emergency Relief Fund, Guerneville School District,
Stewards of the Coast and Redwoods, Wildlife Victoria,
認定NPO法人アクセス、特定非営利活動法人AMDA社会開発機構、
ECC社会貢献・国際交流センター、石さん家、ISLA Japan Travel、
五ふしの草、株式会社インサイト、ANY B & B + COFFEE、
特定非営利活動法人加音西京極作業所、特定非営利活動法人関西NGO協議会、
関西人間関係研究センター、憲法絵本と語りの会、
特定非営利活動法人国連UNHCR協会、心と関係性の相談室「Re」、
kokoroふあーむ縁、一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン、
common cafe、一般社団法人コモン・ニジュール、ゴスペル☆IKOMA、
JICA関西奈良デスク、GCC Kidsインターナショナルスクール、
一般社団法人手話エンターテイメント発信団oioi、株式会社新踏社、
一般財団法人ダイバーシティ研究所、太平楽美容室、
一般財団法人たんぼぼの家、ちよいベジ、dawn、中島大会計事務所、
奈良市立若草中学校、奈良市立若草中学校区地域教育協議会、
一般社団法人ニジュール物語製作委員会、登大路総合法律事務所、
ハートフルリーディング、葉音、
株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ、foo stitch、
特定非営利活動法人防災Hand of All、もりわきファッションスクール、
株式会社リールステージ/あをに工房合同会社、
社会福祉法人わたぼうしの会たんぼぼ生活支援センター



寄付報告

寄付先	寄付額	内訳			
		プロジェクト名 / 寄付内容	活動日	寄付額	備考
特定非営利活動法人AMDA社会開発機構 (AMDA-MINDS)	43,000	第1回子育てカフェ	7月17日	5,000	
		一般寄付	8月	10,000	当法人より
		種を蒔く人のお話を聴く会:AMDA-MINDSネパール事業統括代行 奥田鹿恵子さん	11月6日	15,000	
		使途指定寄付(ホンジュラス事業)	12月11日	6,000	第3回子育てカフェドネーション
			12月	7,000	当法人より
国連UNHCR協会	47,000	新型コロナウイルス感染症緊急支援寄付	6月	11,000	当法人より
		一般寄付	9月	10,000	当法人より
		種を蒔く人のお話を聴く会:国連UNHCR協会芳島昭一さん&SDGs勉強会	12月26日	26,000	
Guerneville School District *Boys & Girls Clubs of Sonoma-Marin様を通じて寄付。12月23日に海外送金実施	104,650	種を蒔く人のお話を聴く会:岩崎裕保さん&SDGs勉強会	10月17日	20,500	
		第2回子育てカフェ	10月23日	2,500	
		第1回ROUDOKUプロジェクト	10月31日	4,000	
		秋の出会いプロジェクト	11月21日	15,000	
		Love, Peace, Freedom and Diversity Project~憲法絵本と語りの会:わたぼうしコンサート・blue earth green trees~	11月29日	10,000	
		預り金(GCCKids International School様)	-	10,000	
			-	42,650	当法人より
Stewards of the Coast and Redwoods *12月16日に海外送金実施	104,730	種を蒔く人のお話を聴く会:岩崎裕保さん&SDGs勉強会	10月17日	20,500	
		第2回子育てカフェ	10月23日	2,500	
		第1回ROUDOKUプロジェクト	10月31日	4,000	
		秋の出会いプロジェクト	11月21日	15,000	
		Love, Peace, Freedom and Diversity Project~憲法絵本と語りの会:わたぼうしコンサート・blue earth green trees~	11月29日	10,000	
		預り金(NPO法人防災 Hand of ALL様)	-	34,500	
			-	18,230	当法人より
一般財団法人たんぼぼの家・わたぼうしプロジェクト	30,830	~憲法絵本と語りの会:わたぼうしコンサート・blue earth green trees~Love, Peace, Freedom and Diversity Project	11月29日	30,830	
認定特定非営利活動法人AMDA	20,000	新型コロナウイルス感染症緊急支援寄付	6月	10,000	当法人より
		7月豪雨被災者支援寄付	9月	10,000	当法人より
国境なき医師団日本	31,000	新型コロナウイルス感染症緊急支援寄付	6月	10,000	当法人より
		種を蒔く人のお話を聴く会:登大路総合法律事務所 所長弁護士田中啓義さん&SDGs勉強会	2月13日	21,000	
ミカサスカサ合同会社	30,000	種を蒔く人のお話を聴く会:中溪宏一さん	3月20日	30,000	
有限会社ビッグイシュー日本	3,300	ビッグイシュー緊急支援	6月	3,300	当法人より
コミュニティ・4・チルドレン	2,250	Sharing our experiences ~Philippines & Japan / それぞれの声を聴き合おう~フィリピンと日本	8月1日	2,250	
JNNE	1,000	SDG4教育キャンペーン2020	6月	1,000	当法人より
合計	417,760				

当団体への寄付報告

内訳	寄付額
●プロジェクト参加者の皆様からのご寄付	
Sharing our experiences ~Philippines & Japan / それぞれの声を聴き合おう~フィリピンと日本(8月1日)	2,250
種を蒔く人のお話を聴く会:岩崎裕保さん&SDGs勉強会(10月17日)	15,000
第2回子育てカフェ(10月23日)	1,000
第1回ROUDOKUプロジェクト(10月31日)	7,659
種を蒔く人のお話を聴く会:特定非営利活動法人AMDA社会開発機構ネパール事業統括代行 奥田鹿恵子さん(11月6日)	5,000
Love, Peace, Freedom and Diversity Project~憲法絵本と語りの会・わたぼうしコンサート・blue earth green trees~(11月29日)	10,000
種を蒔く人のお話を聴く会:国連UNHCR協会芳島昭一さん&SDGs勉強会(12月26日)	10,000
種を蒔く人のお話を聴く会:登大路総合法律事務所 所長弁護士田中啓義さん&SDGs勉強会(2月13日)	14,105
種を蒔く人のお話を聴く会:中溪宏一さん(3月20日)	8,000
●団体様・個人様からの一般寄付	
個人寄付(匿名/4月23日付)	1,000,000
団体寄付(NPO法人防災 Hand of ALL様/12月21日付)	10,000
個人寄付(匿名/12月26日付)	37,000
個人寄付(匿名/3月29日付)	300,000
合計	1,420,014



正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日 から令和 3年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取寄付金		
受取寄付金	1,660,094	
雑収益		
受取利息	2	
経常収益計	1,660,096	
(2) 経常費用		
事業費		
旅費交通費	4,200	
通信運搬費	90,792	
印刷製本費	6,659	
賃借料	121,870	
諸謝金	3,000	
支払寄付金	373,260	
委託費	44,000	
雑費	23,354	
事業費計	667,135	
管理費		
会議費	3,330	
通信運搬費	18,045	
減価償却費	73,669	
消耗品費	57,612	
賃借料	11,580	
租税公課	114,100	
支払負担金	50,000	
管理諸費	66,454	
雑費	9,592	
管理費計	404,382	
経常費用計	1,071,517	
評価損益等調整前当期経常増減額	588,579	
当期経常増減額	588,579	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用		
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
税引前当期一般正味財産増減額	588,579	
当期一般正味財産増減額	588,579	
一般正味財産期首残高	0	
一般正味財産期末残高	588,579	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産期末残高	588,579	

理事・事務局メッセージ

理事（敬称略）	
岡崎 伸彦	みなさまの温かいご支援のおかげで私自身もたくさんの元気をいただきました。どんなに離れていても心で繋がってられる。そんな絆に感謝でいっぱいです。
尾松 貴美	フェアトレードプロジェクトにご協力頂き、ありがとうございます。この活動を通して、フェアトレードについて考え、行動する輪が広がることを願っています。
小原 祥子	春の桜に、季節が変わらず巡る安心感と同時に、時間は確実に過ぎ戻ることがないことも実感。2021年、皆さんとご一緒できるひとときを楽しみにしています。
杉岡 博幸	1年間の活動を振り返ると、続けて活動することの大切さを強く感じます。ゆっくりでも確実にこの歩みを続けていきたいと思えます。このような状況だからこそ。
田中 啓義	本法人は、理事長のお人柄を反映して、芯がありながらもふわっと優しい癒しの団体です。コロナ禍も優しく包み込んで、ゆったりと活動して参りましょう！
東口 千津子	コロナ禍の一年、循環する自然のプロセスと国内外の多様なお一人おひとりのあり方に光と希望を感じ、共に歩むことができました。I appreciate your actions.
松本 由季子	コロナ禍により今まで以上に生理の貧困についての問題は各国で深刻になっています。今私たちにできることをプロジェクトを通して続けていきたいと思えます。
矢倉 真由子	身近な人にも、遠くの人にも思いを寄せながら「今自分にできること」を、皆様と共に模索し続けることで、温かい繋がりを生まれること…実感しています。
山納 洋	コロナの影響が身近な人たちに大きな打撃を与えたことで、自分が今すべきことに戸惑い、エンパワーメントの歩みを続けるメンバーに鼓舞された1年でした。
事務局ボランティア（敬称略）	
長尾 邦光	「誰かの笑顔の為に」と活動する中で活動者が笑顔になりその笑顔を見た他のメンバーも笑顔になる。そんな「人の持つ優しさに触れる」事が出来た一年でした。
西井 ひろ美	種を蒔くメッセージにはいつも力を頂いています。これからも一つ一つの出会いを大切に皆様と一緒により良い社会をつくるお手伝いが出来たらと思っています。
埴 香織	コロナ禍で不安が多い時、この活動を通して人とのつながりを感じることで癒されました。今後人のつながりが持つ力が広がっていくことを楽しみにしています。
山田 有希子	皆様との出会いやともに過ごす時間からたくさんの力をいただいた一年でした！

監事（敬称略）

中嶋 大：中島大会計事務所



一般社団法人 blue earth green trees

〒630-8261 奈良市北市町70-1

メール : blue.earth.green.trees.3@gmail.com

ホームページ : <https://www.blue-earth-green-trees.com/>